



西日本区中部ホームページ・http://www.ys-chubu.jp/

## 2013年10月号

### 「主題」

- 国際会長 : 全ての世界に出て行こう。  
 アジア地域会長 : 未来を始めよう、いますぐに。  
 西日本区理事 : 志をもって例会に参加し、学びの機会を持ちましょう。  
 中部部長 : 長所を活かして生き生きと。  
 プラザクラブ会長 : 5年後のプラザの為に今何を。  
 強調月間・活動 : 【BF・BFは、全ワイズメンバーの参加によって集められる資金です。使用済みの切手を収集することで世界のワイズを感じましょう。】

### 10月例会および今後の予定案内

#### 【10月第1例会(南山クラブと合同例会)】

日時: 10月10日(木)・18:45-  
 場所: 名古屋YMCA会議室  
 内容: 卓話「東アジアにおける捕鯨の起源」  
 講師: 平口哲夫中部部長

#### 【10月第2例会】

日時: 10月24日(木)・18:45-  
 場所: 名古屋YMCA会議室  
 内容: 次月例会の打ち合わせ

出席義務者: 役員(島崎・榎田・後藤)  
 11月担当者(後藤・鈴木)  
 12月担当者(島崎・大島)

### 【今後の予定】

#### 1. 陶芸教室

日時: 10月19日(土)・現地集合10:00-20日(日)

場所: 佐渡山工房・土岐市下石町 TEL. 0572-57-2656  
 榎田携帯・090-4866-3658

#### 2. チャリティラン

日時: 11月2日(土)

場所: 名城公園

#### 3. 11月第1例会

日時: 11月14日(木)・18:45-

場所: 名古屋YMCA会議室

内容: 卓話「我が国の少子高齢化社会」  
 -和魂漢(洋)才から和魂和才で-  
 講師: 伊藤晏義(いとう やすよし)

### 9月例会およびその他活動報告

(敬称略)

役員	会員氏名	出席者								
		1	2	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	大島 孝三郎	○	○							
	小澤 幸男	○								
書記	榎田 守隆	○	○							
会計	後藤 猛	○	○							
会長	島崎 正剛	○	○	○						
	鈴木 誉三	○	○							
直前会長	高田 廣	○	○							
連絡主事	万福寺 昭美	○	○							
ゲスト										
課外活動	①会長連絡会議 9/6									
出席率(%)										100.0
クラブファンド(円)	・当月/累計			0						0
11月号寄稿者・鈴木(1600-2000字程度)										
12月号・島崎/1月号・高田/2月号・大島										

【2013-14年度クラブ役員】メネット連絡員・島崎正剛/副会長。プラザファンド・後藤猛/プリテン委員長。メール委員・榎田守隆  
 EMC. BF. EF. JWF・高田廣/YMCA サービス。IBC. YEOP・小澤幸男/CS. TOF・鈴木誉三/広報事業・大島孝三郎/連絡主事・万福寺昭美  
 BF(Brotherhood Fund・BF資金)・国際役員やBF代表が公式行事に参加する旅費などの資金として、全ワイズメンの参加によって集められる資金。使用済み郵便切手を集め、切手市場で換金している。

## 9月第1例会報告(南山クラブと合同例会)

日時:9月12日(木)・18:30-20:00

場所:南山幼稚園

### 1. 小林会長、島崎会長のあいさつ

共通の話題は、①十勝のジャガイモは10月12日、南山幼稚園に到着します。②プラザは2014年4-5月頃に2泊3日の東北支援旅行を計画しています、よろしければ一緒にいかがですか、とのことでした。

2. 島崎会長の点鐘で始まった南山クラブとの合同例会「バーベキューでリーダーを励ます会」は、クラブ員、ゲスト、ボランティア・リーダーら40人余りが集まり、賑やかに行われた。



励ますリーダーや南山のメンバーのみなさん、火起こしから料理、後片付けまでありがとうございました。



リーダーたち10人の自己紹介です。大学生、社会人と雑多な若者たちのお話の端々に、ボランティアへのさりげない心意気を感じます。



最後に両クラブのメンバー、ゲストのみなさんと写真を撮る。



## 9月第2例会報告

日時:9月26日(木)・18:45-19:45

場所:名古屋YMCA会議室

### 1. 今後の予定・島崎

#### (1) 10月第1例会

- 内容は平口中部部長の卓話とする。なお、部長が公式訪問で金沢から幾度も名古屋へお越しになる面倒を避けるため、南山クラブから合同例会の申し入れがあり、了解しました。
- 万福寺さんは、前々日までに食事の数を島崎会長に確認し、手配する。南山のメンバーは食事代1050円/人を申し受ける。ただし、部長、その付添人は頂かない。
- 部長が当日宿泊の場合(島崎会長確認)は、プラザメンバー有志、大島・島崎・鈴木・高田さんの4人が「ケンポー」でお相手する。費用は有志実費、部長、その付添人は部費から支払う。
- 演題は『東アジアにおける捕鯨の起源・過去30年間、部長が最も専門的に研究された分野』とのこと。

#### (2) 11月第1例会

榎田・後藤さんと高等学校同期生による卓話です。プロフィールは当日ご紹介します。

#### (3) 12月第1例会(クリスマス例会)

鈴木さんのご紹介で錦2丁目「うへの山」にて寿司パーティーを行います。ゲストの方は6000円/人とします。

#### (4) チャリティラン実行委員会

日時:10月3日(木)19:00-

場所:名古屋YMCA会議室

出席:小澤さん

#### (5) 十勝のジャガイモ、カボチャ引取り

日時:10月12日(土)14:00-17:00

場所:南山幼稚園

代金:10月第2例会(10/24)徴収する。

◆荷卸し、整理のお手伝いをお願いします。

(6) チャリティラン

日時:11月2日(土)

場所:名城公園

(7) クリスマス・キャロル

日時:12月23日(月・祝)

場所:JR名古屋駅タワーズガーデン

2. 連絡事項・櫛田

(1) 10月19日(土)ー20日(日)開催の陶芸教室は、プラザクラブ後藤、島崎、櫛田、東海クラブ長谷川、グランパスクラブ荒川、服部の計6人で行います。宿泊される方は1000円/人程度出し合い、夕食、アルコールなどを買い入れ、先生を囲んでささやかな宴会を催す予定です。もちろん持ち込み大歓迎です。

(2) 11月第1例会の卓話伊藤講師より、「パネルディスカッション」のPRを頼まれました。関心のある方はご参加ください。

演題:「終末期の在宅医療を考える」・(入場無料)

日時:10月5日(土)・13:00-

場所:愛知県医師会館9階大講堂

(地下鉄栄駅13番出口より南へ徒歩3分)

主催:一般社団法人 日本尊厳死協会東海支部  
TEL (052) 481-6501

共催:愛知県医師会・名古屋市医師会

後援:中日新聞社

3. 西日本区大会予備費取り扱いについて・後藤

上記予備費は10000円各自から徴収しましたが、大会は幸い黒字のため、本部からそのまま返金されました。本来は各自に返すもので、クラブ退会の常盤さんにはその手続きをしました。残り80000円をどうするのか、討議願います。

結論・各自の預託金(10000円/人)として残す。また、10月から3月まで3000円を積み立てた6ヶ月分(18000円/人)を合わせ、来年4、5月頃予定する東北旅行の費用に充てる。不参加の方には各個に、旅行不成立の場合は全員に28000円を返す。



(第2例会の写真は初めてです)

## アイちゃんとソラちゃん

9月に入った初めての土曜日、次女が小学6年生の藤絵と1年生の葵衣(あおい)を連れて遊びに来た。来ると直ぐ、2人を犬の散歩に行かせ、カミさんと台所のテーブルを挟んでボソボソと話し始めた。昔から子どもたちの相談事は、カミさんを通して入る。また、成績の愚痴ぐらいに思っていた。

葵衣の担任は6月頃から休みがちで父兄の間では妊娠ではないか、との噂から担任を変えるようにとの抗議もあったらしい。2学期の2日目、葵衣が「秋田先生が体調不良のため、2学期より山形先生が担任いたします」との校長名のプリントを持ってきた。私の所為で秋田先生が辞めるかもしれない、という話である。

次女はサラリーマンの夫に2人の娘と市内の団地に住んでいる。団地には同じような家族構成の住民が沢山居て、その何人かの子どもたちと葵衣は同じ保育園に通っていた。中に同い年の少々のおんぼり屋の福島蒼空君と仲が良かった。ソラ君のお母さんは「アイちゃんと同じクラスだったらいいね」と言っていたという。実際、2人は同じクラスになった。1年生になるとのおんぼりの性格が災いした。平仮名を習う時、黒板の字をノートに書き写すのが遅く、先生が横に来て「福島君、まだですか」と声を掛ける。その間、クラス全員が待つことになる。体育も苦手でかけっこは23人クラスのビリだった。ソラ君の持ち物が、下駄箱に隠してあったりする嫌がらせが起きるのに1ヶ月も掛からなかった。さらに、4人の悪ガキがトイレに連れ込み、無理矢理スリッパを脱がせて便器に投げ込むよう強要されたという。

「ソラ君、先生に話したら」「いやだ」、「アイが言おうか」「ダメ」、「お母さんには」「心配するからいやだ、アイちゃんのお母さんにも話したら駄目」。アイは約束を忠実に守った。5月になると「嫌がらせ」はエスカレート、トイレの床にうつ伏せにさせて代わる代わる腹を蹴るようになった。活発なアイでも男の子4人では、注意するのに躊躇したらしい。

「ソラ君、お母さんに・・・」「いやだ、アイちゃんのお母さんにも絶対言わないで」、「じゃあ、アイと一緒に学校かわろうか」「うん、どこの学校?」、「陽菜ちゃんや連ちゃんが行ったところ」同じ卒園生である。「お母さんに聞いてみる」。

「お母さん、ソラちゃんと学校をかわりたい」「どうして?」、「・・・どうしても」「どうしてもじゃ分からない」、「ソラちゃんがね、・・・」「ソラちゃんがどうしたの?」どうにかしたいが、約束を破る無念さで涙がでる。4人組にいじめられている様子を話終り、「ソラ君のお母さんには内緒よ」と念を押す。「ソラ君に、もう少し我慢するように言いなさい。学校をかわるのはそれからでもいいでしょ」「うん、わかった」。

次女はソラ君のお母さんに、2人を責めない約束をして学校でいじめられていることを話す。お母さんはそのことを手紙に書き担任の先生に送ったようで、間もなく先生は2,3日出勤して2,3日休み、2学期からは担任を外されることになる。次女には告げ口したために先生が交代した、という負い目から、カミさんに「これで良かったの?」と確認しに来たのだろう。

数日後電話で「新任の若い女先生はクラスでは優しいが怖いとの評判で、男の子はビビっているらしく4人のいじめも止(や)まった」と報告してきた。

(楢田 守隆)

## 聖書の言葉

【目が手に向かって「私はあなたを必要としない」と言うことはできないし、頭が足に向かって「私はあなたを必要としない」と言うことも出来ません。それどころか、体の中で比較的弱いとみられる器官が、かえって無くてはならないものなのです。また、私たちは体の中で比較的尊くないとみなす器官を、ことさら尊びます。こうして、私たちの見栄えのしない器官は、ことさらに良い格好になります。格好の良い器官にはその必要がありません。しかし神は、劣ったところをことさら尊んで、体をこのように調和させてくださったんです。それは、体の中に分裂がなく、各部分がお互いにいたわり合うためです。(コリント人への手紙 第1・12.21-25)】

【当時、ローマ帝国で有数の大都市だったコリントの教会は、ユダヤ人、ギリシャ人、自由な身分の人、奴隷など雑多な人たちが居り、お互いに「あなたは要る、要らない」と優劣の評価がなされ、分裂の危機に瀕していた。それを知らされたパウロが送った書簡で『各部分が互いに配慮し合い、一つの部分が苦しめば、全ての部分がともに苦しみ、一つの部分が尊ばれれば、全ての部分がともに喜ぶ』ことを体の器官に譬えて伝えた。不必要な人間は、この世にひとりもない、と。】

【今月の聖句は、中部部会で金沢クラブの山内ミハルさんが朗読したコリント書の一節である。聞きながら、子どものころ目・鼻・口・耳が自分はどれだけ働いているか自慢し合っていたが、「鼻さんは何もしていないね」とみんなに責められ、鼻は「それでは休ませてください」と寝てしまい、息ができない目、口、耳は「苦しい、鼻さん早く起きて」、というお話を思い出した。家に帰って、イソップ物語だったと検索してみたが見つからない。同じような内容のものがあつた。『胃袋と足・ある日のこと、手と足と口と目が、腹に反旗を翻してこう言った。「君はいつも何もしないで怠けてばかり・・・贅沢三昧、好き放題!・・・我々は、君の為に働くのは、もううんざりだ・・・!」身体の各部分たちは、このように日頃の鬱憤をぶちまけると、それ以後、腹の助けをするのを拒んだ、

しかし、すぐに身体全体がやせ衰えていった。手と足と口と目は、自分たちの愚かさを後悔したが、時すでに遅かった。(タウンゼント版イソップ寓話集)』ヘロドトス(紀元前485年頃-紀元前420年頃の古代ギリシャの歴史家)の「歴史」によると、『紀元前6世紀に奴隷アイソポスが作った、とされているが、全てがアイソポスの創作ではなく、それ以前から伝えられていた寓話、後世に創作された寓話、アイソポスの出身地の民話をもとにしたものも多数含まれていると見られる。ギリシャ語の原典は失われており、現存するのは古代および中世にまとめられたラテン語のものである。(Wikipedia)』。また、イソップ物語には旧約聖書から紛れ込んだようなものもある。イスラエルの民がカナンの地に戻り、ダビデの統一王朝が築かれるまで(紀元前1200~1000年)の時代を書いた旧約聖書の「士師記」、ダビデの子ソロモンの言葉を筆写したと言われる「箴言」、紀元前1100年から約1000年にわたる各時代に作られた宗教詩の集成である「詩編」などに同じような物語がある。逆にローマ人への手紙、コリント人への手紙などのパウロ書簡は紀元50年から70年に書かれたものであり、年代的にイソップ物語を意識したと思われても仕方がない。因みに、イエスの言動を綴ったマタイ・マルコ・ルカの共観福音書に書かれている「譬え」に、イソップ物語の「笛を吹く漁師」「医者蛙と狐」がよく似ていると、言われている。】

## Z o o m ・道案内

もしあなたが名古屋YMCAで、「いま東新町の東海テレビの前に居ますが、そちらに歩いてお伺いするにはどう行けばよろしいでしょうか」という電話を受けたら、どう説明しますか。「広い通りを東に向かうと葵町西の広い道の交差点がありますので、北に曲がって500mほど行くと小川町の交差点です。それを東に曲がったすぐの信号角にある第一富士ビル1階です」、「申しわけありません、名古屋は初めてですので、東、西と言われても分かりませんが・・・」。現役時代、営業で広島、名古屋、大阪、東京、仙台を拠点に各地を車で走り回ったが、道を尋ねると東京以外の人は東西南北で教えてくれる。名古屋人で珍しく方向音痴のわたしには理解不能で、迷って道を聞く時は、行く方向に向かって立ち「指差呼称(しきこしょう)」よろしく、「真っ直ぐ行って3つ目の信号を右に曲がり、1キロほど走って左側にある銀行の少し先を左に曲がって・・・」といちいち相手を前に確認していた。8月31日、中部部会に出席するため大島さんに乗せて、鈴木さんとの待ち合わせの場所へ向かう車の中で「本山の交差点を東に曲がって北側にある郵便局の前」と道案内され、「この道を真っ直ぐ行き、本山交差点を右に回ってすぐ左側の郵便局、ですね」、「はい、東に入って」。彼は頭の中に磁石がある、生粋の名古屋っ子である。